

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の取り組み状況について

1 令和4年度の取り組み結果

「健康二次被害」と「口腔機能」に着目しながら以下の取り組みを進めた。

項目	目標値	結果																																																
ハイリスクアプローチ	実施率 35%	●訪問による相談・指導の実施																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者 (抽出項目)</th> <th>通知 送付者数</th> <th>実施者数 (1回目)</th> <th>実施率</th> <th>実施者数 (2回目)</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低栄養</td> <td>71名</td> <td>12名</td> <td>16.9%</td> <td>5名</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>口腔機能低下</td> <td>47名</td> <td>3名</td> <td>6.4%</td> <td>1名</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>多剤</td> <td>31名</td> <td>2名</td> <td>6.5%</td> <td>1名</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>重症化予防 (生活習慣病治療中断)</td> <td>35名</td> <td>5名</td> <td>14.3%</td> <td>4名</td> <td>11.4%</td> </tr> <tr> <td>重症化予防 (骨粗しょう症治療中断)</td> <td>18名</td> <td>1名</td> <td>5.6%</td> <td>0名</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>健康状態未把握</td> <td>45名</td> <td>0名</td> <td>0%</td> <td>0名</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>247名</td> <td>23名</td> <td>9.3%</td> <td>11名</td> <td>4.6%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者 (抽出項目)	通知 送付者数	実施者数 (1回目)	実施率	実施者数 (2回目)	実施率	低栄養	71名	12名	16.9%	5名	7.0%	口腔機能低下	47名	3名	6.4%	1名	2.1%	多剤	31名	2名	6.5%	1名	3.2%	重症化予防 (生活習慣病治療中断)	35名	5名	14.3%	4名	11.4%	重症化予防 (骨粗しょう症治療中断)	18名	1名	5.6%	0名	0%	健康状態未把握	45名	0名	0%	0名	0%	合計	247名	23名	9.3%	11名	4.6%
		対象者 (抽出項目)	通知 送付者数	実施者数 (1回目)	実施率	実施者数 (2回目)	実施率																																											
		低栄養	71名	12名	16.9%	5名	7.0%																																											
		口腔機能低下	47名	3名	6.4%	1名	2.1%																																											
		多剤	31名	2名	6.5%	1名	3.2%																																											
		重症化予防 (生活習慣病治療中断)	35名	5名	14.3%	4名	11.4%																																											
		重症化予防 (骨粗しょう症治療中断)	18名	1名	5.6%	0名	0%																																											
健康状態未把握	45名	0名	0%	0名	0%																																													
合計	247名	23名	9.3%	11名	4.6%																																													
ポピュレーションアプローチ	実施回数 5回	●通いの場等での健康教育・健康相談の実施 8回																																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・TAMA フレイル予防プロジェクト（高齢支援課） 大規模 3回（管理栄養士・歯科衛生士を派遣しての実施） なお、その他小・中規模を24回開催。 ・出張健康講座（健康推進課） 5回 																																																
その他保健事業		<p>●介護予防参加勧奨通知発送件数 3,456件</p> <p>●後期高齢者健康診査受診勧奨通知の送付 3,577件</p> <p>令和2、3年度連続で後期高齢者健康診査を受診していない者でかつ85歳未満の者を対象に受診勧奨通知を送付。対象者のうち60名（約1.68%）の受診を確認。</p>																																																

2 医療費分析等による地域の健康課題

一体的実施事業では、KDB（国保データシステム）等を活用した地域の健康課題分析・対象者把握が求められており、保険年金課において企画調整を行う医療専門職が分析、課題抽出、事業の対象者選定等を行っている。「令和3年度多摩市における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関する国保データシステム等による現状分析」の結果は以下のとおりである。

【分析結果】

多摩市の後期高齢者の特徴として、高齢化率が東京都や全国と比較して高いものの、平均余命や

自立期間が都や全国より長く、不健康期間が短いため、健康でいる期間が長いと考えられる。

医療の面でも、都や全国と比べて一人当たりの点数が低く、一人当たりの医療費が都や全国に比べて安く抑えられているため、当然だが、健康であることは医療費の抑制にもつながっている。

多摩市後期高齢者の健康課題及び方針について以下のとおりまとめた。

主な健康課題	今後の方針
① 入院のうち脳出血の医療費が男女ともに都よりも高い	・国保世代から継続した生活習慣病予防の周知・保健指導 ・健診・医療機関未受診者への受診勧奨・アウトリーチ
② 医療費の総額で骨折が最も多く、要介護認定を受けている人の中でも半数が筋・骨格系の疾患を抱えている	・高齢福祉分野への分析結果の周知、市民へ転倒予防の運動の情報提供
③ 健診の質問票でソーシャルサポートがあると答えた人が都と比べて低い	・高齢福祉分野への分析結果の周知と対応の検討 ・アウトリーチした際の身近な相談先の紹介
④ 歯科健診実施率の低迷	・歯科受診中等、実施率が低迷している状況を精査し、実施率向上に向けた取り組みを検討 ・未受診者・未治療者への受診勧奨

3 令和5年度の取り組み内容

上記2を踏まえ、以下について取り組みを進めていく。

- (1) ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチともに、生活習慣病予防、健診・医療機関未受診、転倒予防運動、ソーシャルサポートに着目し、令和4年度にひきつづき各事業を進めていく。また、生活習慣病予防や転倒予防、ソーシャルサポートの大切さ等について被保険者に周知していけるよう、健康講座の場での啓発、健診等の案内や結果説明時に配布しているパンフレットの内容改訂を行っていく。
- (2) ハイリスクアプローチについては、厚労省から参考資料とされている「一体的実施・KDB活用支援ツール」の抽出条件の考え方と保健事業への活用 Ver.1 を用いて対象者抽出を行う。抽出項目は、低栄養・口腔・身体的フレイル（ロコモ含む）・重症化予防（コントロール不良者・糖尿病等治療中断者・基礎疾患保有＋フレイル・多剤・健康状態不明者）
- (3) 受診率向上に向け、後期高齢者健康診査については受診勧奨通知の発送を令和4年度に引き続き実施し、また、後期高齢者医療歯科健康診査についても受診率向上のための取組について検討を進めていく。
- (4) そのほか、地域医療関係団体（多摩市医師会、多摩歯科医会、多摩薬剤師会、地域包括支援センター、多摩市社会福祉協議会、民生委員等）へ KDB 分析により把握した健康課題等を周知・情報共有しながらこれまで以上の連携について手法等を検討したり、国保世代との連携した取り組みについても検討していく。